

長沼地区河川防災ステーション登録伝達式を開催

- 国土交通省では、水防活動や災害時の緊急復旧を行う拠点となる「河川防災ステーション」の整備を、市町村と一体となり進めています。
- このたび、北陸地方整備局と長野市が国土交通本省に対して申請していた「長沼地区河川防災ステーション」の整備計画が登録されたことから、**長野市への登録の伝達式**を行いました。
- 洪水時は被害を最小限とするため、緊急復旧活動を行う上で必要なコンクリートブロックなどの緊急用資材の備蓄や、駐車場、ヘリポート等の整備を行うとともに、水防センターを設置する等、災害時の活動拠点となる施設です。
- 平常時には水防センターと長野市長沼支所を兼用して活用するほか、イベント時の施設開放、防災訓練や防災学習の場として活用することで、地域の賑わいづくり及び防災に関する意識向上を図ります。

○日にち=4月16日(金)

○時間=11:00~11:30

○出席者=北陸地方整備局河川部長、長野市長

○会場=長野市役所 第一庁舎5階 庁議室

新井田河川部長

洪水時には水防活動や万一の場合の緊急対応の拠点。また、平常時においては地域の方々の交流や文化活動等の拠点として有効に活用されるよう、長野市と千曲川河川事務所が連携して整備を進めていただきたいと思います。

加藤長野市長

整備計画を承認いただいたことで、本年度から着実に整備が進められます。

長沼地区の皆様はもとより、沿川にお住いの皆様にとりましても安全・安心に繋がる心強い施設になるものと期待しております。



新井田河川部長(左)から加藤長野市長へ登録証を伝達



登録証を手にする新井田河川部長(左)と加藤長野市長

長沼地区河川防災ステーション確認書調印式を開催

- 長沼地区河川防災ステーションについて、事業者である長野市と千曲川河川事務所が連携し、円滑に整備を進められるよう**確認書の調印式を開催**しました。
- 平常時の利活用については引き続き、地元の皆様・長野市・千曲川河川事務所と3者で協議を行いながら検討を進めてまいります。

- 日にち=4月16日(金)
- 時 間=11:30~12:00
- 出席者=長野市長、千曲川河川事務所長
長沼地区復興対策企画委員会委員長・副委員長
- 会 場=長野市役所 第一庁舎5階 庁議室

齋藤事務所長

今後、用地取得・埋蔵文化財調査等の具体的な作業に入りますが、引き続き長野市・地元の皆様と連携・調整させていただきながら事業を進めてまいります。

加藤長野市長

地元の皆様には事業の合意形成等ご尽力頂き、大変感謝しています。長沼地域の皆様が安心安全に生活できるよう、一日も早い完成に向け整備を進めてまいります。



開会の挨拶(齋藤千曲川河川事務所長)



地元からの報告(柳見澤長沼地区復興対策企画委員長)

柳見澤委員長

防災ステーション上を長沼の復興のまちづくりの拠点、「復興のシンボル」として平常時の利活用を図ってまいります。
また、千曲川流域での治水対策に対する防災拠点として機能することに期待しております。



確認書調印式の様子①



確認書調印式の様子②



閉会の挨拶(加藤長野市長)